

No.28

2005年
(平成17年)

同窓会より

— 発行 —

旭川荘厚生専門学院
同窓会

— 発行者 —

同窓会会長 中尾 絹江

発行年月日 平成17年9月1日

岡山市祇園地先

TEL (086) 275-0145

FAX (086) 275-3283

同窓生の皆様方におかれましては
お元気で活躍のことと拝察いたし
ております。学院の教育推進につ
きましては、力強いお力添えをいた
だいておりますことに、心より感謝
いたしております。

さて、今年も三百六十六名の新人
生を迎え、全学生八百二十名でス
トし、それぞれの目標に向かって頑
張っております。三月には介護福祉
科夜間コース（平成十四年度新設）
の第一期生全員が元気に介護専門
職員として巣立っていきたくてお
ります。



旭川荘創立五十年に...

学院長 藤田 哲輔

さて、学院は今年で創立三十四年
目を迎えておりますが、母体である
社会福祉法人旭川荘は創立五十年
を迎えようとしております。日本の
社会福祉の歴史そのものである旭川
荘の五十年は、昨年十六年度から記
念事業、記念行事を四年間にわた
って行ってきたております。十六年度は
学院リズム棟で旭川荘の利用者さん
や職員、学生を対象に東京大学管
楽団の演奏会を皮切りに始まりま
した。また、旭川荘資料館が完成し、
中・高校生との総合学習など福祉の学
習をはじめ、多くの人たちが、以来、



「生命」を改めて思う

同窓会会長 中尾 絹江

昨年第二十回同窓会開催にあたり、
大勢の参加を頂きありがとうございました。
なかでも介護福祉科の若い
エネルギーから、新たなパワーを分
けてもらったようで、とても楽しい
時間を過ごすことができました。

あれから半年、四月二十五日の「
R 福知山線での大惨事はまだ記憶に
新しいところです。事故発生には様々
な要因が隠れているとされているこ
ろが、多くの生命を預かっているこ
とが忘れられていたことは本当に残

念なことです。
同窓生の大半の方々がその「生命」
を預かるプロとして携わっておられ
るのですが、各々の人が明日を抱
いて歩んでいる途上、一瞬にして断
切られた無念を受け止められたこと
と思います。

生命の重さを改めて皆さんと共有
し後に繋げてゆきたいものです。
今年十月十六日（日）広島支部総
会を開催します。お会いできるこ
とを楽しみに待っています。

毎日のように訪れております。
今年、十七年度は五月に、これか
らの人口問題と社会保障。のテーマ
で行われたママカリーフォーラムでの
公開講座、秋には学院リズム棟での
アジア国際シンポジウム（十一月
十九日）メインの十八年度は旭川荘
内での創立五十周年記念式典、環境
問題セミナーなどを予定しております。
最後の平成十九年度には旭川荘
にかかわっていただいた旭川荘外
の人達をお招きして五十周年記念式
典やコンサートを計画しております。
皆様方の母校である学院を含め、
旭川荘は二十一世紀のよりよい医療・
福祉社会を目指して前進してござ
います。

今後とも、学院の教育推進にご指
導、ご支援をお願いいたします。同窓生
の皆様方のご発展を祈念いたしまし
てご挨拶とさせていただきます。



『旭川キャンパスにて』

同窓会総会にて久々に学院の先生
方や同級生と再会しました。介護福
祉科十五期生は十名集まった事もあ
り、交流会では在学中の思い出話や
仕事の話が花が咲き、とても楽しい
時間を過ごす事ができました。

介護福祉科十五期生 黒住 卓

第二十回同窓会総会懇親会

平成十六年十一月二十日、旭川荘厚生専門学院にて第二十回同窓
会総会・懇親会を開催しました。
学院長先生をはじめ各料の先生方、創立期から平成十五年卒業
の同窓会員五十七名のご出席をいただきました。



訃報

初代、旭川荘厚生専門学院院長であ
りました堀川龍一先生（八十四歳）が
七月八日おなくなりになりました。
先生は本学院院長の後、旭川療育
園の園長をされ、ご退職されてお
られます。退職後、旭川療育園名

誉園長となられておられました。
ご葬儀はご親族のみでおこなわ
れましたが、七月三十日（土）エバ
ホール岡山で故堀川龍一先生を偲
ぶ「お別れ会」が堀川家と旭川荘
と合同でおこなわれました。学院
からもお手伝いに出させていただきました。
大変、多くの方が参列
され、しめやかな中に先生のお人
柄が偲ばれる思いがしました。
ご冥福をお祈りいたします。



みんな笑顔で、ハイ、ポーズ！

今年は「輝いて！おかやま大会」の年！！ 障害者サポートはおまかせください

私たち第1看護科二十期生九十二名は、秋の障害者スポーツ大会に向けて週に一度の養成講座を受けています。養成講座では講義だけでなく、手話や車椅子などの体験実習も行っています。大会で選手の方と少しでもコミュニケーションがとれるように勉強中です。本番での活躍を見ていてください。

第1看護科 畑 理恵
安田 玲子

「学院の周りはこんなに変わりました！」

みなさんは学院を卒業してどのくらい経つたでしょうか。学生の頃実習をした施設は、今どうなっていると思いますか？昭和三十〜四十年代に創設された旭川荘の各施設は建物が老朽化してしまひ、現在改築が進んでいます。敬老園は最新のユニットケアを取り入れた五階建ての施設になり、入居者の方の快適な暮らしを支援しています。児童院は四階建てとなり、病棟の数も増えました。旭川荘内で実習やアルバイトをされたみなさん、あの頃にはなかった施設も増えて、旭川荘全貌はすいぶん変化しています。久しぶりに母校を訪ねて、施設周辺の散歩はいかがですか？もしかしら懐かしい職員や利用者さんに会えるかもしれませぬ！



奥：児童院 右手前：敬老園

児童福祉科の 近況報告

今年は十一月に全国障害者スポーツ大会が岡山で開催されることになっており、学院からも看護科・介護福祉科・児童福祉科の学生三〇〇人が大会サポーターとして参加することになっています。障害者スポーツ指導者の資格取得をめざす児童福祉科では、一・二年生全員が参加する予定です。二年生は昨年度から県が開催する「サポーター養成講座」を受講し、今年五月のりハサル大会に参加するなど着々と準備を整えています。サポーターの活動内容は、学生たちで作った大会サポーターのホームページ (<http://www.talkal-m.jp>)



サポーター養成講座での1コマ

手話もがんばっています



がんばっています 医療福祉秘書科

医療福祉秘書科(旧福祉情報科)は、今年三月に十三名の卒業生(十期生)を送り出し、四月には新入生二十二名(十六期生)を迎え入れて、平成十七年度をスタートしました。十四期生の就職については、希望者は全員無事就職しました。これも卒業生の皆さんが先輩として社会で活躍してくださっているおかげと大変感謝しています。

今後も、皆さんに続く学生を送り出せるようにと、科で新たに取組んだ内容もありますので、ここでいくつか紹介します。

六月、病院実習では、短い実習期間をより充実したものにするよう、一週目の土曜日に学校でのカンファレンスを行うようになりました。実習グループごとに実習中困惑したこ

supporter.com)で知ることができず、ぜひアクセスしてみたい。

また、今年から幼稚園教員の資格認定試験が実施されることになりました。卒業生の皆様のなかにも受験される方がいらつしやることと思いますが、児童福祉科としてもどんなサポートができるかを検討しているところです。困っていることや相談したいことがありましたら、児童福祉科教員までお気軽にご連絡下さい。

(旭川荘厚生専門学院 児童福祉科 代表電話(086)275-0145 info@hoshinohirokawa.ac.jp)



卒業研究発表会、発表頑張りました

とや疑問点等について先生方を含めて話し合い、後半の実習に望むようになりました。

十一月、卒業生の方に講師をお願いして就職ガイダンスを行い、在学生が現場での仕事内容などが聞ける機会をつくりました。

二月、卒業研究発表会を行いました。二年生がグループごとに分かれて取組んだ研究内容を論文にまとめて、その発表会を開催しました。発表会には院内や学院内の先生方も聴講に来てくださいました。

学生が作ったHPも更新中で、今年度も医療福祉秘書科は元気に頑張っています。またご覧下さって、メッセージや感想などもお寄せ下されば幸いです。

info@hoshinohirokawa.ac.jp



結びの社

吉井川キャンパスより

卒業生のみなさんお元気ですか？

介護福祉科・福祉研究科・精神保健福祉科が吉井川キャンパスに移動して今年で三年目を迎えました。移動した直後の吉井川キャンパス周辺は何もなく、キャンパスと研修センターの2棟だけで、あとは広い広い空き地という少し寂しい環境でしたが、昨年お隣に「三世代交流」と「グループホームよしい川」が仲間に加わり大変賑やかになりました。また結びの杜構内の緑化もすすみ、美しく変貌しています。みなさんが頑張って植えたどんぐりも元気に成長しています。休み時間にはみなさんたちと同じように、元気に後輩たちがキャンパス前で遊んでいます。ぜひ一度、緑や施設が増えて賑やかになった吉井川キャンパスに遊びに来てくださいね。

〈吉井川キャンパス〉



どんぐりです。
こんなに大きくなりました！



〈グループホームよしい川〉



アルバイト学生とお散歩／ベンチで一息



お昼休みの学生たち



介護福祉科 十五期生

黒住 卓

早いもので、学院を卒業して一年余が経ちました。

私は現在、旭川市内の知的障害者入所更正施設「いづみ寮」に勤務しています。主に高齢者や身体障害者の介護について学んできた私にとって、知的障害者の方々とのお会いはなかなか衝撃的でした。しかし、日々の介護支援の中で、心と心を通わせることの大切さに気付けたのは「ことば」を持たない利用者の皆さんと

感謝の気持ちを込めて

介護福祉科 二期生
近藤 奈美子

学院の皆様、同窓生の皆様、お元気でお過ごしでしょうか。私は、六年間お世話になった学院を三月に退職いたしました。

卒業生として、介護福祉士として、その養成に関わる日々は、本当に充実した貴重な経験でした。特に、同じ道を志す皆さんと出会い、基本に返って共に学べたことは、私にとって大切な宝物です。

新しい道は模索中ですが、機会があればお会いすることでしょう。今後の皆様の公私共の活躍をお祈りしています。

の出会いがあったからこそだと感じています。この気持ちを大切に、これからも一つひとつ積み重ねていきたいと思っています。

介護福祉科夜間課程 一期生

相野 賢史

六月になり、旭川市の新職員として働き始めて早一ヶ月が過ぎました。学ぶことがたくさんあり、先輩から叱られたり、入居者の方から「ありがとう」と言われて嬉しくなったりと毎日毎日が一生懸命です。

今は一人でも多くの入居者の方が笑顔で毎日が過ごせることを目標とし、一緒に卒業した同級生に負けないうよう、旭川市の職員として頑張りたいと思います。

再び学院へ

介護福祉科 十一期生
宇野 真智子

十一期生のみなさん、卒業生の皆さん、お元気ですか？私は、学校を卒業して六年目になり、今年の四月から学院に帰ってきました。

笑ったり悩んだりしている学生さんと一緒にいると自分が在学していたときのことを思い出し、とてもフレッシュな気持ちにさせられます。また一から勉強し直してできる限りのことを伝えていきたいと思っています。

吉井川キャンパスの校舎は新しくとても居心地がいいです。ぜひ皆さん遊びに来てくださいね。

学院玄関前



「グループホームよしい川の看板犬です。」

精神保健福祉科 二期生

島木 佳那子

卒業後、約一年が経ちましたが、精神保健福祉科二期生の皆さん、お元気ですか？

私は、生活訓練施設で働き始めて二年目を迎えました。仕事では自分の力不足で落ち込むこともしばしばです。しかし、そんな時には利用者さんが励ましてくれます。また、同期の皆さんに会ったり、活躍を耳にすると頑張ろうという気持ちが湧いてきます。

それぞれに忙しくされていると思いますが機会があれば皆で集まって話が出来ればいいですね。その日が来るのを楽しみにしています。

